

《 既に「挨拶」の体を成していません 》

会長 菊池 智義 (S61年度卒)

今晚のセッションは若干ゆったり目の Medium Swing、”Satin Dall”から始める事とした。

KeyはCで演るのが通例で、Bridgeに入ってから若干の転調っぽい(Gm→C7→Fの辺り)部分が、いつも「調子っぱずれ(まるで、その部分以外はコードに乗った音のみ出している様だが・・・)」になってしまうのが苦痛である為、今まで避けていた。

でも、事前の個人練習中に「Bb・Fのつもりで吹けば良かったんだ」と、気が付いたら蟬りが消えたのだ。

まあ如何に「コードも読めずにアドリブに臨んでいる」という事がバレバレな内容である。

とりあえず1周目(フロントが持ち回りで選曲する事となっていて、そのテーマ/メロディは、その曲を選んだ人が演奏する。という慣わしになっている)は、無事終える事が出来た。

2周目、事前の曲がGtによるSlow Ballad「Old Folks」であった為、悩んだ挙げ句「There will never be another you」をSlow Bossaでやる事とした。

前回セッションでは、若干早めのテンポでやった為「今回はちょっとゆっくりで」と思いテンポを出してイントロが始まったら「あらびっくり(*_*)」

倍テン(Double Time)になってしまったのだ!

始まってしまったからには止める訳にも行かず、結局最後までやり通したけど

『モノすんごい辛かった!』

確かにテンポを出す場合はアフタービートのみをカウントするのが普通だし、いつもそうしている。しかし、その時は自分の感覚が狂ってしまったのだ。「魔が差した」としか云い様が無い。でも、その時は何故か「一拍ずつ」のつもりで指を鳴らして(”Finger Snap”と云うらしい)しまった。正に「馬鹿者」と云わずなんと云おう。

うまくならない筈だよなあ～。。。。。

OB 会員今日この頃

◆ 佐賀 克也 様 (S45年度卒)

いつも声をかけていただきありがとうございます。

文士劇には是非出たいと思っています。

◆ 伊藤 真由美 様 (S56年度卒)

役員の皆様、毎年お疲れさまです。定期演奏会、都合がつけば聴きに行きたいなあ～～と思っています。3月で仕事を退職し、自宅で(お寺)の仕事を手伝ったりしています。

◆ 野坂 禎子 様 (S57年度卒)

マンション暮らしのためフルートはとても吹けません……。残念です……。NHKの「あまちゃん」の曲を聴くととても楽しそうだなあと思っています。

◆ 菊池 真奈 様 (H9年度卒)

毎年このおハガキを頂くと、岩手のことや高校時代のことを思い出し、懐かしく思い出します。

♪♪♪♯♪♭ 奥州市民☆文士劇 ♪♪♪♯♪♭

今年も奥州市民☆文士劇に参加要請され、メロディージャックスさん(水沢農業のOBバンド)と共に演奏しました。参加したのは 飯森功(旧岩農S39卒)佐賀克也(S45卒)阿部祐司・伊藤豊文(S47卒)及川昌浩・及川恵(S53卒)石川浩司(S60卒)菊池智義(S61卒)石田守(H23卒生の父)の9名です。11月16日から練習を始め(週一ですが)1月26・27日の本番に臨みました。

筆者が座っているのはステージど真ん中の真下……。この位置けっこうキツイんです……。今回で4回参加しているんですが、3回目まではず～～～と客席側を向いていましたので、真上で演じられていると自分まで見られているような気がして、でかい口を笑ってたり、ましてや寝たりなんか出来ない緊張と退屈……。立ち回りが始まれば、走ったり倒れたりする音が真上からガンガンして、役者が舞台から落ちてくるんじゃないかと思う恐怖……。

今回は、演奏していないときは椅子を回してステージを見られることになったのですが、見上げているので首は疲れる・場面によっては目のやり場に困る・立ち回りは近すぎるしホコリがスゴイ・つばきが飛んできそう……等々。

でもリハーサル2回・本番3回観ても飽きない熱演でした。細かいハプニングなどが楽しめるのも何度も見ているからこそ!!来年はもっと大勢で参加しましょう!!

